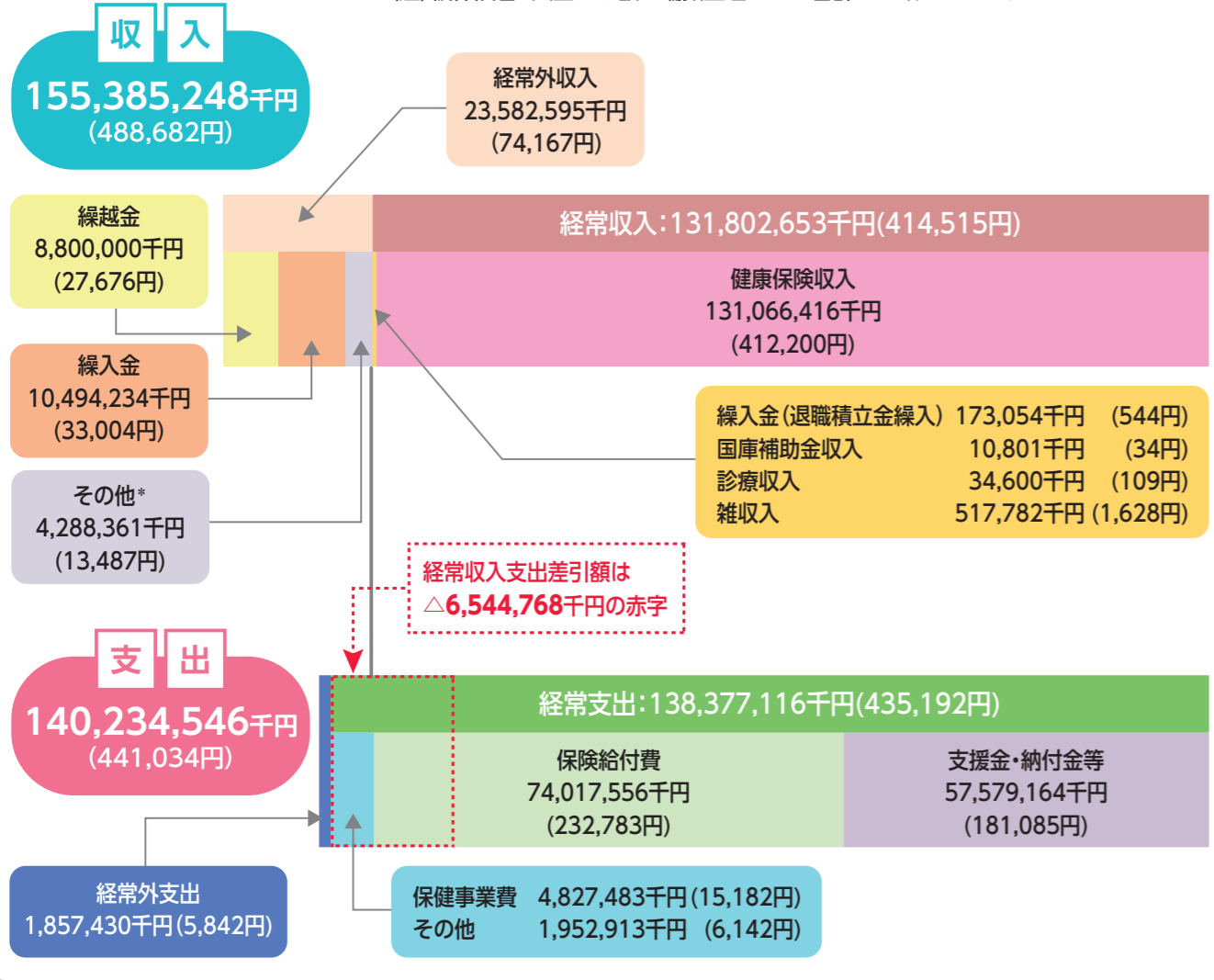


基礎数値

被保険者数・・・**317,968名** 健康保険料率・・・**96%**(調整保険料率1.3を含む)
 平均標準報酬月額・・・**322,108円** 介護保険料率・・・**18.2%**

収入支出決算概要表

★()内は被保険者1人当たり額。 *過年度の健康保険料収入105,861千円(このうち前年度納付猶予保険料97,694千円を含む)を含む。
 ★令和5年度未収金は29,695千円 (注)被保険者1人当たり額は端数整理のため合計が一致しません。



今後の見通し

今後の健保組合を取り巻く情勢としては、依然として増え続ける医療費や団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年以降、高齢者医療制度および介護保険制度への支援金・納付金が増加することが見込まれます。さらには、令和6年10月に現行の従業員101人以上から従業員51人以上に引き下げられる短時間労働者に対する社会保険の適用拡大により、組合運営にとって一層厳しい状況が続くものと考えられます。

そのため、組合運営の基礎となる保険料収入の確保を図り、支出の大半を占める医療費の適正化対策として、効率的なレセプト点検、ジェネリック医薬品の使用促進、柔道整復療養費に対する照会業務を行うとともに、令和6年から始まる第3期データヘルス計画に基づき、生活習慣病の重症化予防のほか、支援金・納付金の減算にも繋がるよう特定健診・特定保健指導の受診率・実施率の向上を図り、組合財政の健全化に努めてまいります。

令和5年度決算が承認されました

去る、7月17日(水)に開催されました第173回組合会において、令和5年度の決算が承認されましたので、概要をお知らせいたします。



経常収支差引額は
65億4,476万8千円の赤字

収入 **1,553億8,524万8千円** 経常収入 **1,318億265万3千円**

- ◎年間平均被保険者数は**317,968名**
- ◎年間平均標準報酬月額は、**322,108円**
- ◎経常収入は、**1,318億265万3千円**
- ◎その他収入については、前年度からの繰越金88億円に加え、別途積立金から42億4,423万4千円、準備積立金から62億5千万円を受け入れ、経常外収入は、235億8,259万5千円

支出 **1,402億3,454万6千円** 経常支出 **1,383億7,711万6千円**

- ◎保険給付費は、**740億1,755万6千円**
 全体の一人当たり保険給付費では232,783円となりました。これにより、保険給付費総額は740億1千万円となり、予算を26億5千万円下回りましたが、コロナ禍以降、医療費の高い伸び率が続いた影響により、前年度決算比は39億8千万円の増額となりました。
- ◎納付金は、**575億7,916万4千円**
 前年度決算比では55億7千万円の増額。主な要因としては令和2年度の新型コロナ感染拡大時における高齢者医療費の減少に伴う精算により、令和4年度の納付金が一時的に減少した反動から大きく増加することとなりました。
- ◎その他支出は、**67億8,039万6千円**
 保健事業費をはじめ事務所費、診療所費など各種事業にわたり契約等の徹底した見直しを図るなど、諸経費の節減に努め、予算比13億7,789万2千円の減額となりました。

介護保険

収入 **143億5,783万3千円** 支出 **128億4,445万5千円**

- ◎介護保険の収支差引額は、**15億1,337万8千円の黒字**となりました。

決算のポイント

令和5年度の決算状況の収入面では、予算時の見込みに比べ被保険者数および平均標準報酬月額が増加したことにより健康保険収入が69億4,168万3千円の増収となりました。

支出面では、高齢者医療拠出金の過重な負担に加え、保険給付費が新型コロナやインフルエンザ、呼吸器系疾患の流行等により高い伸びで推移したことから、経常収支においては65億4千万円の赤字となり、当初予算の見込みよりは大幅に減少したものの4年連続の赤字決算という結果となりました。

健康保険料収入等だけでは支出を補え切れない状況が続く、令和5年度においては、過去の剰余金である別途積立金全額および準備積立金の一部を取り崩す結果となり、令和6年度以降の組合運営上の財源を確保するためには、令和6年度に保険料率を上げざるを得ない財政状況となりました。